

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000051
事業所名	グループホーム白珠

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会に加入し、回覧板を通じて地域情報を収集し地域の一員としての暮らしを継続している。近隣住民とは外出時に挨拶を交わし、買い物先のドラッグストアでは顔なじみの関係を築き交流を深めている。推進会議の開催場所として地域の町内会館を提供してもらい、地域に根差した活動に繋げ、協働関係を深めている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 推進会議は年6回の開催し、自治会長、民生委員、包括職員、地域住民として退所した利用者家族の参加があり、運営状況の周知、意見交換等で交流を深め連携体制を深めている。認知症、虐待等の研修会の報告の場として活用し、ホームの取組みへの理解を深めている。会議の内容は職員に周知し、運営の改善や向上に繋げている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 毎年、市主催の作品展に出品、作品を観に行く機会があり、ホーム、利用者の取組みを地域に貢献し協働関係を深めている。市窓口とは何かあれば電話等で相談し関係性を継続し、東三河地区の連絡協議会とは、会議や認知症普及活動に参加して連携を図っている。市町村主催の研修の参加があり、職員育成に繋げている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 毎月「白珠便り」を作成し、利用者の日常の様子を写真やコメントを添えて伝え、家族の安心に繋げている。また電話や面会時に直接話をする事で信頼関係構築に繋げ、協力体制を深めている。利用者や家族の意見や要望はカンファレンス等で職員全体で検討し、介護計画や日頃の支援に反映する様に努めている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○	◎							